

日経 225mini

[大阪取引所](#)に上場されている日経平均の先物取引の1つです。

先物取引は、将来のある売買を約束する「契約」です。日経 225mini においては、「将来のある時点(＝満期日)」に、「日経平均」を、「取引時の値段」で、売買する約束となります。日経平均を「買う」約束をする者(買い方)と、「売る」約束をする者(売り方)が存在し、売買する日経平均の値段が一致して初めて取引が成立します。

約束によると、満期日には日経平均を取引時の値段で売買することになるはずですが、実際には日経平均は単なる株価指数であって実体がなく、売買できません。そのため満期日までのどこかの時点で、反対売買(買い方は「転売」、売り方は「買戻し」を行って取引を終了させること)を行って、売値と買値の差から計算される損益をやり取りする「差金決済」という方法を採用しています。

日経 225mini では、取引金額は日経平均の価格を「100 倍」という制度を採用しています。なお、取引金額の価格を「1,000 倍」する日経 225 先物と比較すると 10 分の 1 の大きさのため、「ミニ」と呼ばれることもあります。

2006 年 7 月 18 日に取引が開始された、比較的新しい先物取引です。